

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（和嶋） （高島） （大原）

使用教科書：（ステップアップ高校スポーツ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】・運動の意義と行い方、体の動きを高める方法について理解し、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間

【思考力、判断力、表現力等】・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、他者に伝えることが出来る。

【学びに向かう力、人間性等】・積極的に取り組む、仲間と学習を作り上げ、グループで活動する。健康・安全に配慮している。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合うこと。 ・ねらいに応じて、能力を高めるための運動を	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする事、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする事、話合いに参加しようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	A 単元 体力テスト・体づくり運動 【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること ・教材 ステップアップニュースポーツ ・PC 記録の入力	【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。	○	○	○	6
	B 単元 ソフトボール・バレーボール 【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること ・教材 ステップアップニュースポーツ ・PC 記録の入力	【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。	○	○	○	16
	C 単元 水泳 【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること ・教材 ステップアップニュースポーツ ・PC 記録の入力	【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。	○	○	○	12

2 学 期	<p>D 単元 フライングディスク・テニス・バドミントン</p> <p>【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。</p>	<p>・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること</p> <p>・教材 ステップアップニュースポーツ</p> <p>・PC 記録の入力</p>	<p>【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	18
3 学 期	<p>E 単元 持久走</p> <p>【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。</p>	<p>・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること</p> <p>・教材 ステップアップニュースポーツ</p> <p>・PC 記録の入力</p>	<p>【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	12
							合計
							64

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（BD組：和嶋）（ACG組：高島）（EFH組：藤岡）

使用教科書：（大修館 現代高等保健）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】・運動の意義と行い方、体の動きを高める方法について理解し、心と体との関係や心身の状態に気付き、
- 【思考力、判断力、表現力等】・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、他者に伝えることが出来る。
- 【学びに向かう力、人間性等】・積極的に取り組む、仲間と学習を作り上げ、グループで活動する。健康・安全に配慮している。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・我が国の各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解し表現、説明ができる。	・各単元の様々な健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	・各単元ごとに健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。また他者と課題及び内容についてお互いを尊重しながら話し合い、アドバイスすることが出来る。

No.	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	<p>A 第1単元 現代社会と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康の考え方と成り立ち ○私たちの健康のすがた ○生活習慣の予防と回復 ○がんの原因と予防 ○がんの治療と回復 <p>各項目ごとに様々な考え方について例を挙げて説明できる。</p> <p>各項目ごとに他者と協力して課題解決に主体的に取り組む、互いに尊重しながら主体的に取組ことが出来る。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 健康に関する項目について主体的に学習すること 仲間と協力して実施すること ・教材 大修館 現代高等保健体育 ・PC 端末を使って、授業資料・小テスト 	<p>【知識及び技能】 各項目ごとに健康に関する課題について理解し、発言することが出来る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各項目ごとに健康にかかわる原則や概念を個人、社会と関連付けて課題発見に取り組んでいる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。</p>	○	○	○	9
2	<p>A 第1単元 現代社会と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動と健康 ○食事と健康 ○休養・睡眠と健康 ○喫煙と健康 ○飲酒と健康 ○薬物乱用と健康 ○精神疾患の特徴 ○精神疾患の予防 ○精神疾患からの回復 <p>各項目ごとに様々な考え方について例を挙げて説明できる。</p> <p>各項目ごとに他者と協力して課題解決に主体的に取り組む、互いに尊重しながら主体的に取組ことが出来る。</p> <p>定期考査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 健康に関する項目について主体的に学習すること 仲間と協力して実施すること ・教材 大修館 現代高等保健体育 ・PC 端末を使って、授業資料・小テスト 	<p>【知識及び技能】 各項目ごとに健康に関する課題について理解し、発言することが出来る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各項目ごとに健康にかかわる原則や概念を個人、社会と関連付けて課題発見に取り組んでいる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。</p>	○	○	○	12
3	<p>A 第1単元 現代社会と健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ○デイベート <p>1, 2学期に学んだ項目を中心に役割分担、調べ、質問作成等を行い、項目ごとに様々な考え方について例を挙げて説明できる。</p> <p>各項目ごとに他者と協力して課題解決に主体的に取り組む、互いに尊重しながら主体的に取組ことが出来る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指導事項 健康に関する項目について主体的に学習すること 仲間と協力して実施すること ・教材 大修館 現代高等保健体育 ・PC 端末を使って、調べ学習、発表 	<p>【知識及び技能】 各項目ごとに健康に関する課題について理解し、発言することが出来る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各項目ごとに健康にかかわる原則や概念を個人、社会と関連付けて課題発見に取り組んでいる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。</p>	○	○	○	10
							合計
							31

昭和 高等学校 令和5年度 教科

芸術 科目 音楽 I

教科： 芸術 科目： 音楽 I
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組（選択者）
 教科担当者： 斎藤葉耶花
 使用教科書： MOUSA 1（教育芸術社）

単位数： 2 単位

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い

科目 音楽 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり、および音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協同的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	時配 数当
		歌	器	創						
A 単元 ボディーパーカッションに挑戦しよう 【知識及び技能】 曲想と音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 どのように演奏するかについて、イメージをもって表現意を工夫して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と協働しながら、曲の特徴を生かした表現ができるよう、試行錯誤したり、意見を交換する。	・指導事項 リズムを正確に読み取り、表現意欲をもってリズムアンサンブルを行う。 ・教材 Plymouth Rock ・関連楽曲鑑賞		○	○	○	・楽譜をみながら、手拍子や足踏みの奏法について理解している。 ・音色・リズム・強弱・構成等を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ・他者との調和を意識して演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組んでいる。	○	○	○	5
B 単元 曲にふさわしい発声で表情豊かに歌おう 【知識及び技能】 曲にふさわしい発声、言葉の発音、体の使い方などで歌う 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって表現を工夫して歌う 【学びに向かう力、人間性等】 歌ったり互いに聴き合ったりしながら、曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持っている。	・指導事項 伸び伸びとした発声で、発音に留意し、表情豊かに歌う。 ・教材 校歌（斉唱）、0 sole mio、むこうむこう ・関連楽曲鑑賞		○		○	・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している。曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に着け、歌唱で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テキストチャア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
C 単元 表現を工夫してギターを演奏しよう（メロディー奏・コード奏） 【知識及び技能】 曲想とギターの音色や奏法との関わりを理解し、曲にふさわしい奏法を身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって表現を工夫して演奏する。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら、表現を工夫する	・指導事項 ギター奏法基礎、音階 ・教材 第3の男のテーマ、なごり雪 ・関連楽曲鑑賞		○	○	○	・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している。曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に着け、器楽で表している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テキストチャア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	10
D 単元 オペラ親しみ、アリアに挑戦しよう 【知識及び技能】 物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情などを理解するとともに、舞台芸術としてのオペラの特徴を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 【学びに向かう力、人間性等】 音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら、表現を工夫する。	・指導事項 オペラの概要、物語のあらすじ、アリア ・教材 カルメン ・関連楽曲鑑賞		○		○	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テキストチャア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ・音色、リズム、速度、旋律、テキストチャア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱・鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8

2 学 期	E 単元 表現を工夫して合唱やヴォイスアンサンブルをしよう 【知識及び技能】 合唱やヴォイスアンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして歌ったり、他者との調和を意識して歌う技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって表現を工夫して歌う 【学びに向かう力、人間性等】 1人1人が主体性を発揮しながら、他者	・指導事項 ハーモニーの作り方、発声、発音 ・教材 校歌（無伴奏混声4部）、美女と野獣（伴奏つき2重唱）、おんがく（無伴奏混声4部） ・関連楽曲鑑賞	○	○	・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、合唱やヴォイスアンサンブルによる表現の特徴、各パートや指揮者の役割に関心を持ち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	15
	F 単元 音楽を形づくっている要素に注目して、曲のよさや美しさを探ろう 【知識及び技能】 音楽を形づくっている要素やその働きに注目しながら曲を聴き、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 根拠をもって曲や演奏を批評する 【学びに向かう力、人間性等】 鑑賞する楽曲について意見を交換し、その曲に対する評価とその根拠を述べ合う	・指導事項 オーケストラの楽器・編成、楽曲の構成、作曲家 ・教材 「音楽を織りなすさまざまな要素」 「オーケストラを知ろう」交響曲第9番 《合唱付き》から第4番	○	○	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解している。 ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
3 学 期	G さまざまな器楽アンサンブルを楽しもう 【知識及び技能】 器楽アンサンブルによる表現の特徴を理解し、それを生かして演奏したり、他者との調和を意識して演奏したりする技能を身に着ける 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって表現を工夫して演奏する 【学びに向かう力、人間性等】 全体の響きをイメージしながら表現を工夫して器楽アンサンブルをする喜びを味わう	・指導事項 ギター奏法基礎 音階・コード ハンドベル奏法 ・教材 星に願いを 等 ・関連楽曲鑑賞	○	○	・一人一人が主体性を発揮しながら、他者との調和を意識して演奏する技能を身に着けている ・各パートの役割を理解するとともに、全体の響きやハーモニーをイメージしながら演奏している ・共通のイメージをもって、音楽を形づくっている要素の働かせ方などを試行錯誤しながら表現を工夫している	○	○	○	10
	H ミュージカルナンバーを歌おう 【知識及び技能】 物語のあらすじや歌詞の内容、登場人物の心情を理解し、曲にふさわしい発声、発音、身体を使い方を身につける 【思考力、判断力、表現力等】 イメージをもって表現を工夫して歌う 【学びに向かう力、人間性等】 曲や演奏に対する評価とその根拠を述べ合う	・指導事項 歌唱、鑑賞 ・教材 キャッツ、「舞台芸術」	○	○	・創意工夫をいかした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、発音、身体の使用方などの技能を身に着け、歌唱している ・音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、どのように歌うかについて表現意図を持っている ・曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱・鑑賞の学習に取り組もうとしている。	○	○	○	8
									合計
									70

昭和 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：伊藤和美

使用教科書：高校生の美術<日本文教出版>

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働き等について考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期	A 単元 教科書作品鑑賞・発表 【知識及び技能】 ・教科書の作品について基礎的な知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・好きな作品について詳しく分析しレポートにまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の作品について考えを整理し発表する。	・指導事項 美術の様々な分野についての解説すると共に、教科書の作品について歴史や文化を踏まえた概説を行う。 ・教材 教科書 高校生の美術	○	○	○	○	・好きな作品について自分なりの解釈を交えながら詳しく分析し、伝わりやすい表現でレポートにまとめられているか。	○	○	○	2
	B 単元 鉛筆デッサン基礎 【知識及び技能】 ・鉛筆の削り方、使用方法、基礎形体の捉え方を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・正確な形の捉え方や立体感の表現方法を、実践しながら学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 カッターの持ち方と使用方法を実演しながら解説、また鉛筆の色の出し方を体験し、デッサン模写を通して形の捉え方を指導する。 ・教材 教科書、基礎形体デッサン見本シート等	○	○		○	・デッサンに使用する鉛筆の削り方について知り、鉛筆の色の出し方、タッチの入れ方をワークシートで丁寧に実践できているか。 ・それぞれの基礎形体を、指導を受けた内容を踏まえて立体的にデッサンできているか。	○	○	○	4
	C 単元 対照的なイメージによる色彩構成 【知識及び技能】 ・色相、明度、彩度といった色彩の基礎知識について学び、作品の制作を通して色彩の違いによるイメージの違いについて実感する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・モチーフを効果的に単純化し、イメージした通りの対称作品となるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事後レポートにこの単元の学びについてまとめる。	・指導事項 色彩の基礎知識、形の単純化の方法、アイディアスケッチの方法、トレースの方法、色づくり、ベタ塗りの方法等 ・教材 教科書、色彩見本シート、色立体、配色カード、参考作品、ICTパソコンによる色彩の解説等			○	○	・明度、彩度、色相についてしっかり理解できたか。 ・二つの作品は全く同じ形でありながら、色彩の違いにより対照的なイメージとすることができたか。 ・ベタ塗りで丁寧に着色し、はみ出たり汚れた箇所は白色で修正できているか。 ・制作時間なりの完成度の作品となっているか。	○	○	○	14

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科： 芸術 科目： 書道 I 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組
 教科担当者： (A・B組：梅津幸子) (C・D組：梅津幸子) (E・F組：梅津幸子) (G・H組：大畑義子) (組：) (組：)
 使用教科書： (書 I (光村図書))

教科 芸術 の目標：
 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよう
 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		漢 仮	漢	仮						
書道で学習すること 書写から書道へ 【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果との関わり 用筆・運筆から生み出される書の表現性 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書道の幅広い表現の学習に取り組む	・書道の三分野（漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書）と、臨書・鑑賞・創作という学習方法があることを理解する。 ・小・中学校国語科書写と高校書道の学習の違いを理解する。 ・国語科書写で学習した内容（筆使い・字形など）を確認する。	○		○	【知】・芸術科書道で学習することを理解している。・小・中学校国語科書写で学習した内容を理解している。 【態】・高校書道での学習を主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。小・中学校書写で学習した内容を主体的に振り返っている。	○		○	4	
1 学期 漢字の書 楷書 【知識及び技能】 書風と古典に基づく基本的な用筆・運筆 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想・工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に楷書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む	・楷書の用筆、運筆、結構や字形の取り方について理解し、技法を習得する。 ・古典を臨書する意義について理解する。 ・唐の四大家の楷書作品の臨書から書風の違いを理解し、技法を習得する。	○		○	【知】 臨書を通して唐の四大家の楷書作品の字形や線質・点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 【思】 鑑賞を通して唐の四大家の楷書作品の書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。 【態】 唐の四大家の楷書作品に関心をもち、その美を味わおうとしている。	○	○	○	24	
2 学期 漢字の書 行書 【知識及び技能】 書体や書風と用筆・運筆との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想・工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に行書の幅広い表現・鑑賞	・行書の特徴を理解する。 ・行書の用筆・運筆の技法を理解し、習得する。 ・書道史における書聖・王羲之と「蘭亭序」について理解する。 ・「蘭亭序」を鑑賞し、卒意の書ならではの多様な書きぶりを理解する。 ・筆脈と抑揚を意識して「蘭亭序」を臨書する。	○		○	【知】 臨書を通して「蘭亭序」の線質や点画の特徴を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 【思】 鑑賞を通して「蘭亭序」の書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。 【態】 行書の字形や用筆の特徴について、主体的に確認している。「蘭亭序」に関心をもち、その美を味わおうとしている。	○	○	○	20	
漢字の書 草書・隸書 【知識及び技能】 書体や書風と用筆・運筆との関わり 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想・工夫 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現・鑑賞	・草書の成立過程や通行書体としての性質を確認する。併せて草書を簡略化して仮名が生まれたことを理解する。 ・「真草千字文」を鑑賞・臨書し、草書の特徴・用筆を理解する。 ・隸書の成立過程や公式書体としての性質を確認する。 ・「曹全碑」の鑑賞・臨書し、八分隸の字形や線質、用筆の特徴を	○		○	【知】 草書・隸書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【思】 鑑賞を通して草書・隸書の書体や書風とそれを形成する表現の要素を理解し、臨書に生かしている。 【態】 草書や隸書の字形や用筆の特徴について主体的に確認し、学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8	
3 学期 仮名の書 【知識及び技能】 古典に基づく基本的な用筆・運筆、線質を生かした表現 【思考力、判断力、表現力等】 古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に仮名の書の幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む	・仮名の成立について理解する。 ・仮名の基本的な用筆・運筆を理解し、習得する。 ・平仮名・変体仮名について理解する。 ・「蓬萊切」「高野切第三種」を鑑賞し、典型的な仮名の美を感じ取る。 ・「蓬萊切」をもとに連綿の法則を理解する。 ・「高野切第三種」の伸びやかな			○	【知】 「蓬萊切」「高野切第三種」の臨書を通して、平仮名・変体仮名の字形や線質、連綿の法則を理解し、それを表現するための用筆・運筆の技法を理解している。 【思】 鑑賞を通して、平仮名の字形や線質、変体仮名の多様性を理解し、臨書に生かしている。 【態】 仮名に関心をもち、典型的な古典作品である「蓬萊切」「高野切第三種」の美しさを味わおうとしている。	○	○	○	8	
漢字仮名交じりの書 【知識及び技能】 漢字と仮名の調和した線質・用途や目的に即した表現 【思考力、判断力、表現力等】 全体構成と意図に基づいた表現 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に幅広い表現・鑑賞の学習に取り組む	・漢字仮名交じりの書の特徴を理解する。 ・書く言葉を決め、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かし、書体・書風・紙面構成などの観点で作品の構想を練る。 ・試作を重ね、表現を工夫して作品を仕上げる。 ・作品を鑑賞し合い、学習の成果を交流する。	○		○	【知】 漢字仮名交じりの書の特徴を理解している。 【思】 表現のねらいを明確に定め、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かした構想を練っている。創作した作品を互いに鑑賞し合うことで、表現の意図と技法の効果について工夫している。 【態】 漢字仮名交じりの書の創作に関心をもち、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6	
合計										70

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報 I

教科： 情報 科目： 情報 I 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組
 教科担当者： ABCDEFGH：吉見 H組：今井
 使用教科書： -新編-情報 I・東京書籍

教科 情報 の目標：
 【知識及び技能】情報と情報技術及びこれらを活用して情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする
 【思考力、判断力、表現力等】問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う
 【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う

科目 情報 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

1 学期	1 情報で問題を解決する 【知識及び技能】 ・情報の特性から、情報とは何か理解させる。問題を発見・解決するための一連の流れを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 各メディアのメリット、デメリットが判断させる。問題の発見・解決に情報技術が活用できることを理解させ、適切な方法を選択させる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決の手法を身につけようとして意識させる。知的財産権について身近な題材で知ろうとさせる。	・指導事項 情報メディア・問題解決・知的財産権について理解する。 ・教材 教科書副教材 ・一人1台端末の活用 等 onenoteによる電子ノートの提出 Formsを利用した振り返りの提出 Temasの機能を利用した共同作業	【知識・技能】 情報やメディアの特性を理解している。問題解決のプロセスを理解している。知的財産権では、どのようなものを保護しているか理解している。 【思考・判断・表現】 伝える情報に対して適切な表現メディアを判断することができる。身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめて考えることができる。知的財産権の利用について保護されているかどうか適切に判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 やメディアの特性を理解しようとしている。身近な問題について、問題解決のプロセスを当てはめようとしている。授業で使われる知的財産権の扱いについて調べようとしている。	○	○	○	10
	2 情報を伝える① 【知識及び技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を、その変遷も踏まえて理解させる。デジタル化の標準化、量子化、符号化が理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から適切な情報の表現をさせる。デジタルデータとアナログデータを区別させる 【学びに向かう力、人間性等】 通信メディアの進歩による社会や生活の変化を知ろうとさせる。デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを知ろうとさせる。	・指導事項 ネットコミュニケーション・デジタル表現について理解する。 ・教材 教科書副教材 ・一人1台端末の活用 等 onenoteによる電子ノートの提出 Formsを利用した振り返りの提出 Temasの機能を利用した共同作業	【知識・技能】 ネットコミュニケーションの特徴を理解している。デジタルとアナログの違いを理解している。 【思考・判断・表現】 状況に応じて適切なメディアを選択することができる。情報のデジタル化の利点を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットコミュニケーションの特性を理解してメディアを活用しようとしている。情報のデジタル化の関係性について考えようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

<p>3 情報を伝える②</p> <p>【知識及び技能】 情報デザインの方法を理解させる。デザイン思考の流れについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報を可視化して表現するさせる。問題解決をするために「誰に」「何を」「どのように」取り組んだらよいかをデザイン思考の流れで考えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学校のWebサイトの階層構造を調べようとする。ユーザ分析をして、効果的なコミュニケーションのために情報デザインを行わせる。</p>	<p>・指導事項 情報デザインについて理解する。</p> <p>・教材 教科書副教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等 onenoteによる電子ノートの提出 Formsを利用した振り返りの提出 Temasの機能を利用した共同作業</p>	<p>【知識・技能】 情報デザインの目的を理解できる。情報デザインのプロセスを理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 情報を整理し、適切に構造化・可視化して表現できる。想定したユーザの考えや行動を分析できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、分かりやすい文書を作ろうとしている。ユーザインタフェースの問題点を考えるようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>4 コンピュータを活用する①</p> <p>【知識及び技能】 コンピュータの仕組みを理解させる。論理回路について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身の回りにおけるコンピュータが入っている製品を考えさせる。論理回路を真理値表に表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータの仕組みに興味を持たせる。論理回路を真理値表で理解させる。</p>	<p>・指導事項 コンピュータの仕組みについて理解する。</p> <p>・教材 教科書副教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等 onenoteによる電子ノートの提出 Formsを利用した振り返りの提出 Temasの機能を利用した共同作業</p>	<p>【知識・技能】 コンピュータの基本構成を理解できる。基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの役割を理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 CPUでのプログラムの実行の仕組みを理解できる。コンピュータの演算の方法とその限界を理解できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 コンピュータの処理のための基本的な回路について理解しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>5 コンピュータを活用する②</p> <p>【知識及び技能】 アルゴリズムを表現する方法を理解させる。プログラムの順次構造を理解している。モデル化の技能を身につけてさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アルゴリズムを考えさせる。プログラムに表現させる。モデルを使ったシミュレーションを表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 アルゴリズムを考えさせる。プログラミングを理解させる。モデル化とシミュレーションについて理解させる。</p>	<p>・指導事項 アルゴリズム・プログラミング・モデル化・シミュレーションについて理解する。</p> <p>・教材 教科書副教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等 onenoteによる電子ノートの提出 Formsを利用した振り返りの提出 Temasの機能を利用した共同作業</p>	<p>【知識・技能】 プログラムとアルゴリズムの関係を理解できる。フローチャートでアルゴリズムを表現することができる。物理モデル、図的モデル、数理モデルを理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 プログラムを作ることができる。分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作ることができる。モデル化とシミュレーションにおける注意点を理解できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く、プログラムを作ろうとしている。モデル化の方法や、モデルの適切性を判断できる。</p>	○	○	○	14
<p>定期考査</p>			○	○		1

3 学 期	<p>6 データを活用する</p> <p>【知識及び技能】 インターネットの接続の仕組みについて理解させる。情報セキュリティの技術について理解させる。データベースがどのように活用されているか理解させる。データを収集して可視化する技能を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 プロトコルによってどのように通信しているかを考えさせる。学校内の情報セキュリティを高める技術について、具体的な活用例を考えさせる。関係データモデルの利点を考えさせる。データを分析して表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 コンピュータに割り振られているIPアドレスをどのように調べたらよいか考えさせる。情報セキュリティを高める技術を実践させる。蓄積したデータを活用させる。問題解決のために、データを収集し、分析し、結果を表現させる。</p>	<p>・指導事項 ネットワーク・インターネット・データベースについて理解する</p> <p>・教材 教科書副教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等 onenoteによる電子ノートの提出 Formsを利用した振り返りの提出 Temasの機能を利用した共同作業</p>	<p>【知識・技能】 インターネットとはどのようなものか、理解できる。Webページを閲覧する仕組みを理解できる。質的データと量的データの違いを理解できる。問題解決におけるデータ分析の位置づけを理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ドメイン名とメールアドレス、URLの関係を判断できる。あるデータがどの尺度に当たるか判断できる。データの代表値とグラフ化による分析方法を理解できる</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 サーバとクライアントの役割を理解できる。ネットワークのトラブルが起こった際に対応を判断できる。・データ分析の結果と解釈を振り返りながら、データ分析の改善をしようとしている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（大原） （高島） （加藤） （三好）

使用教科書：（ステップアップ高校スポーツ）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】・運動の意義と行い方、体の動きを高める方法について理解し、心と体との関係や心身の状態に気付き、
- 【思考力、判断力、表現力等】・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、他者に伝えることが出来る。
- 【学びに向かう力、人間性等】・積極的に取り組む、仲間と学習を作り上げ、グループで活動する。健康・安全に配慮している。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。運動を行い、心と体との関係や心身の状態に気付き、仲間と積極的に関わり合うこと。 ・ねらいに応じて、能力を高めるための運動を	・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする事、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする事、話合いに参加しようとする事などをしたり、健康・安全に気を配ったりしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 単元 体力テスト・体づくり運動 【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること ・教材 ステップアップニュースポーツ ・PC 記録の入力	【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。	○	○	○	6
	B 単元 バスケットボール・フットサル・ハンドボール 【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること ・教材 ステップアップニュースポーツ ・PC 記録の入力	【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。	○	○	○	16
	C 単元 水泳 【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること ・教材 ステップアップニュースポーツ ・PC 記録の入力	【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。 【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。	○	○	○	12

2 学 期	<p>D 単元 バレーボール・テニス・サッカー</p> <p>【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。</p>	<p>・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること</p> <p>・教材 ステップアップニュースポーツ</p> <p>・PC 記録の入力</p>	<p>【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	18
3 学 期	<p>E 単元 持久走</p> <p>【知識及び技能】 動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。</p>	<p>・指導事項 安全に配慮して活動すること 仲間と協力して実施すること</p> <p>・教材 ステップアップニュースポーツ</p> <p>・PC 記録の入力</p>	<p>【知識・技能】 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを実践できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切に、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	12
							合計
							64

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（AH組：大原）（BCD組：三好）（EFG組：加藤）

使用教科書：（大修館 現代高等保健）

教科 保健体育 の目標：

- 【知識及び技能】・運動の意義と行い方、体の動きを高める方法について理解し、心と体との関係や心身の状態に気付き、
- 【思考力、判断力、表現力等】・自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、他者に伝えることが出来る。
- 【学びに向かう力、人間性等】・積極的に取り組む、仲間と学習を作り上げ、グループで活動する。健康・安全に配慮している。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・我が国の各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解し表現、説明をできる。	・各単元の様々な健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	・各単元ごとに健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。また他者と課題及び内容についてお互いを尊重しながら話し合い、アドバイスすることが出来る。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	A 第2単元 安全な社会生活 ○事故の原因と発生要因 ○安全な社会の形成 ○交通における安全 ○応急手当の意義とその基本 ○日常的な応急手当 ○心肺蘇生法 各項目ごとに様々な考え方について例を挙げて説明できる。	・指導事項 健康に関する項目について主体的に学習すること 仲間と協力して実施すること ・教材 大修館 現代高等保健体育 ・PC 端末を使って、授業資料・小テスト	【知識及び技能】 各項目ごとに健康に関する課題について理解し、発言することが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 各項目ごとに健康にかかわる原則や概念を個人、社会と関連付けて課題発見に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	○	○	○	9
	各項目ごとに他者と協力して課題解決に主体的に取り組む、互いに尊重しながら主体的に取組ことが出来る。						
2 学 期	A 第3単元 生涯を通じる健康 ○ライフステージと健康 ○思春期と健康 ○性意識と性行動の選択 ○妊娠出産と健康 ○避妊法と人工妊娠中絶 ○結婚生活と健康 ○中高年期と健康 ○働くことと健康 ○労働災害と健康 ○健康的な職業生活 各項目ごとに様々な考え方について例を挙げて説明できる。	・指導事項 健康に関する項目について主体的に学習すること 仲間と協力して実施すること ・教材 大修館 現代高等保健体育 ・PC 端末を使って、授業資料・小テスト	【知識及び技能】 各項目ごとに健康に関する課題について理解し、発言することが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 各項目ごとに健康にかかわる原則や概念を個人、社会と関連付けて課題発見に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	○	○	○	12
	各項目ごとに他者と協力して課題解決に主体的に取り組む、互いに尊重しながら主体的に取組ことが出来る。						
3 学 期	A 第4単元 健康を支える環境づくり ○ディベート 第4単元の中から項目を挙げ、役割分担、調べ、質問作成等を行い、項目ごとに様々な考え方について例を挙げて説明できる。	・指導事項 健康に関する項目について主体的に学習すること 仲間と協力して実施すること ・教材 大修館 現代高等保健体育 ・PC 端末を使つての調べ	【知識及び技能】 各項目ごとに健康に関する課題について理解し、発言することが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 各項目ごとに健康にかかわる原則や概念を個人、社会と関連付けて課題発見に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。	○	○	○	10
	各項目ごとに他者と協力して課題解決に主体的に取り組む、互いに尊重しながら主体的に取組ことが出来る。						合計
							31

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭科 科目 家庭基礎

教科： 家庭科 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A-H組：森田俊一）

使用教科書：（ 教育図書 未来へつなぐ家庭基礎365 ）

教科 家庭科 の目標：

【知識及び技能】毎日の生活及び人生を送るための必要な知識・技術を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】日常生活の中の課題解決を図る能力の育成。

【学びに向かう力、人間性等】社会参加及び日常生活の向上を図ろうとする。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
毎日の生活及び人生を送るための基礎的な知識・技術を習得する。	毎日の生活や社会の中から問題を見いだして課題を発見し、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする。

教育実習やコロナ禍の影響のため年間計画を変更性があります。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元「生涯の生活設計と青年期の自立と家族」 【知識及び技能】・青年期の5つの自立 【思考力、判断力、表現力等】これからの家族・家庭のあり方について考える。 【学びに向かう力、人間性等】ライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら考える。	・指導事項 ライフステージ・職業労働・家族の形態 ・教材 人生すごろく	【知識・技能】・青年期の5つの自立について理解している。 ・職業の種類や意義について理解している。 【思考・判断・表現】・具体的な事例や事象を通して、これからの家族・家庭のあり方について考え、まとめることができる。 ・ワーク・ライフ・バランスの視点から、職業労働のあり方について考え、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・人生で起こりうるライフイベントについて自分の将来と照らし合わせながら主体的に考えようとしている。	○	○	○	6
	B 単元「生活における経済の計画」 【知識及び技能】 ・現金とキャッシュレスのしくみについて理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて知る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・消費者問題について対策を考える。	・指導事項 家計管理・金融商品・消費者問題等 ・教材 かぶたす 消費者問題ロールプレイング VTRそれでもお金借りますか	【知識・技能】・現金とキャッシュレスのしくみの違いについて理解している。 ・家計の管理に関する具体的な事例を収集し、整理することができる。 【思考・判断・表現】・さまざまな金融商品のメリットとデメリットについて具体的に調べ、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・消費者問題について自分ごととして捉えて対策を考えようとしている。また、他の人への啓発の意識を持っている。	○	○	○	8
	C 単元「食生活と健康」 【知識及び技能】・日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】・自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較する。 【学びに向かう力、人間性等】・配膳や食事マナーを考える。	・指導事項 栄養素について・各食品の特徴、調理上の注意・食中毒予防・テーブルマナー等 ・教材 学習プリント VTR食中毒予防	【知識・技能】・日常用いられる食品の栄養的特質、調理上の性質について科学的視点から理解している。 ・食品の表示の意味を理解している。 【思考・判断・表現】・自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題と比較して、まとめる、発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・配膳や食事マナーを考えて、食事を整え、楽しく食事をしようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C 単元「食生活と健康」 続き						6
	D 単元「衣生活と健康」 【知識及び技能】・布の縫い方など、基礎的な技術を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】・TPOや衣服の機能を考え衣生活を送る。	・指導事項 色々な縫い方・取扱 絵表示・繊維の特徴等 ・教材 刺し子クッション	【知識・技能】・被服の入手、洗濯、保管などの被服管理について理解し、管理できる技術を習得している。 ・布の縫い方など、基礎的な技術を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】・衣服の機能や安全性、環境への配慮などの知識を生かして、自分の衣生活を改善しようとしている。	○		○	8
	E 単元「住生活と住環境」 【知識及び技能】・住居の平面図を読みとる。 【思考力、判断力、表現力等】・安全や生活環境を考えた住居選びをする。 【学びに向かう力、人間性等】・将来の住まい方について考える。	・指導事項 間取りの見方・賃貸物件について等 ・教材 間取りシール・住居 広告	【知識・技能】・住居の平面図を読みとることができる。 【思考・判断・表現】・防犯、防火、耐震などの安全性が高く、日照、採光、換気、遮音などに配慮して健康的に住むことができる住居について考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】・将来の住まい方について考えようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>F単元「児童福祉と高齢者福祉」</p> <p>【知識及び技能】・子どもや高齢者の心身の特徴を知る。</p> <p>・社会保障制度や公的年金制度、児童・高齢者・障害者福祉制度について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】・身の回りのバリアフリーについて考えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】・介護育児等を未来の自分の生活としてとらえる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>児童福祉・高齢者福祉・社会保障制度等</p> <p>・教材</p> <p>絵本・車いす・高齢者体験キット・点字体験キット</p>	<p>【知識・技能】・子どもや高齢者の心身の特徴や子どもの発達、遊びの意義を理解している。</p> <p>・社会保障制度や公的年金制度、児童・高齢者・障害者福祉制度について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】・身の回りのバリアフリーやユニバーサルデザインを調べ、まとめたり発表したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】・高齢者体験等を通して、高齢者の生活に関心を持ち、未来の自分の生活としてとらえることができる。</p>	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							49

昭和高等学校令和5年度 教科保健体育 科目体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：(藤岡) (大原) (藤岡) (加藤) (和嶋) (三好)

使用教科書：(現代高等保健体育)

使用教材：(ステップアップニュースポーツ)

	指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 学 期	バレーボール・サッカー・テニス 3種目より1種目選択 8時間 バドミントン・ソフトボール 2クラス2展開 8時間 体ほぐし運動・体づくり運動 3時間 新体力テスト 5時間 水泳 8時間	<ul style="list-style-type: none"> ・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげることができる。 ・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを實踐できる。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切にし、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。 	32
2 学 期	体育祭練習 2時間 バスケット・ゴルフ・テニス 2種目より1種目選択 6時間 バドミントン・ソフトボール 6時間 バレーボール・テニス・フライングディスク から1種目選択 6時間	<ul style="list-style-type: none"> ・技能と体力の関係について説明できる。 ・技能や体力を高めるときに気をつけるべき点をあげることができる。 ・運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・運動やスポーツの技能を発揮する際には、個々の技能に関連した体力を高めることが必要になることや、期待される成果に応じた技能や体力の高め方があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解する。自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組む。積極的に取り組むとともに、仲間とともに学習に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを實踐できる。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 ・運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きを大切にし、話合いに貢献し、健康・安全を確保している。 	20
3 学 期	必要に応じて特別講習を開催	一人ひとりの進路に応じた個別講習を開講する。受験に向けて準備を整える。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ・種目に応じた基本的な動きを實踐できる。 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫する。 	8

指導内容	科目体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
------	---------------	----------	------------------

昭和高等学校令和5年度 教科 芸術 科目 音楽 I (保育系音楽) 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽 I (保育系音楽) 単位数：2 単位

対象学年組：第3 学年選択者

教科担当者：斎藤茉莉花

使用教科書：MOUSA 1 (教育芸術社)

使用教材：配布楽譜、ピアノ、ギター、ハンドベル

	指導内容	科目音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	ピアノ奏法基礎 姿勢、指番号、譜の読み方 童謡弾き歌い(春のうた)	楽器の音色や奏法の特徴、基礎事項を理解し、技能として身につけ、表現上の効果を生かして演奏することができる。 子どもの歌の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	1
	ギター奏法基礎 コード C, D, Em, G	楽器の音色や奏法の特徴、基礎事項を理解し、技能として身につけ、表現上の効果を生かして演奏することができる。		2
5 月	童謡弾き歌い(春のうた)、発表	弾き歌いをしながら人に聴かせたり、いっしょに歌ったりする場合の表現方法を工夫することができる。歌と伴奏それぞれの役割を理解して表現に生かすことができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	3
	ギター弾き歌い「なごりゆき」	楽器の音色や奏法の特徴、基礎事項を理解し、技能として身につけ、表現上の効果を生かして演奏することができる。歌と伴奏それぞれの役割を理解して表現に生かすことができる。		3
6 月	童謡弾きうたい(夏のうた)	子どもの歌の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	6
	ギター弾き歌い「なごりゆき」 アルペジオ伴奏	楽器の音色や奏法の特徴、基礎事項を理解し、技能として身につけ、表現上の効果を生かして演奏することができる。歌と伴奏それぞれの役割を理解して表現に生かすことができる。		2
7 月	童謡弾きうたい(夏のうた)、発表	弾き歌いをしながら人に聴かせたり、いっしょに歌ったりする場合の表現方法を工夫することができる。歌と伴奏それぞれの役割を理解して表現に生かすことができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	2
8 月	童謡弾き歌い(秋のうた) ハンドベル合奏	子どもの歌の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。 各音の役割や全通の響きについて一人一人が主体的に考え、音色、フレーズ、強弱などを工夫してアンサンブルをすることができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	2

	指導内容	科目音楽 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	童謡弾き歌い(秋のうた)	子どもの歌の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	4
	ピアノ コード伴奏理論、創作			2
	ハンドベル合奏			2
10 月	童謡弾き歌い(秋のうた)、発表	弾き歌いをしながら人に聴かせたり、いっしょに歌ったりする場合の表現方法を工夫することができる。歌と伴奏それぞれの役割を理解して表現に生かすことができる。 自らの表現技能に見合う楽曲を選曲し、子どもの歌の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	4
	童謡弾き歌い 自由曲選曲			4
11 月	童謡弾き歌い(冬のうた)	子どもの歌の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。 自ら選曲した童謡の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	4
	童謡弾き歌い 自由曲			4
12 月	童謡弾き歌い(冬のうた)	子どもの歌の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。 自ら選曲した童謡の表現内容を総合的に理解し、表現意図をもって創造的に演奏することができる。歌と伴奏それぞれの役割を理解して表現に生かすことができる。	積極的な取り組み態度 観察・発表	3
	童謡弾き歌い 自由曲 発表			1
1 月				
2 月				
3 月				

昭和高等学校令和5年度 教科芸術 科目音楽Ⅲ 年間授業計画

教 科： 芸術 科 目： 音楽Ⅲ 単位数： 2単位

対象学年組： 第2学年E組～H組

教科担当者： 斎藤茉莉花

使用教科書： 音楽Ⅲ Tutti (教育出版)

使用教材： ギター、鑑賞CD・DVD、副教材 The Basics of Music

	指導内容	科目音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	グループリズムアンサンブル(練習) 関連楽曲の鑑賞	8分の6と4分の3拍子の拍子感を体得し、曲想にあった表現方法を工夫して、イメージをもってグループごとに演奏することができる。	観察・発表	2
	独唱「小さな空」 様々な歌手の演奏鑑賞	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて理解し、イメージをもって歌唱できるようになる。様々な歌手の演奏を聴き比べ、特徴を感じ取り、自らの歌唱表現に生かすことができる。	個人実技テスト・提出物	2
	ギター実習 音階と旋律 二重奏「きらきらぼし」「ぶんぶんぶん」 (練習)	ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもって個人およびグループごとに演奏することができる。	観察・発表	2
5 月	グループリズムアンサンブル(発表)	8分の6と4分の3拍子の拍子感を体得し、曲想にあった表現方法を工夫して、イメージをもってグループごとに演奏し、発表することができる。	発表	2
	独唱「Shall we dance?」 関連楽曲の鑑賞	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて理解し、イメージをもって歌唱できるようになる。もとのミュージカルについてあらすじや登場人物を理解し、その場面を想像しながら、自らの歌唱表現に生かすことができる。	個人実技テスト	2
	ギター実習 二重奏「きらきらぼし」「ぶんぶんぶん」(練習・発表)	ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもって個人およびグループごとに演奏することができる。	観察・発表	2
	三重唱「はたるこい」練習 関連楽曲の鑑賞	重唱活動に関心をもち、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素のかかわりについて理解し、音楽表現を工夫して重唱を行うことができる。	観察・発表	2
6 月	ギター実習 コード奏・弾き歌い「なごり雪」	ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもって弾き歌いができる。	観察・発表	4
	三重唱「はたるこい」発表	重唱活動に関心をもち、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素のかかわりについて理解し、音楽表現を工夫して重唱を行い、発表し、聴きあうことができる。	発表	3
	歌唱実技テスト	曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて理解し、イメージをもって表情豊かに歌唱することができる。	個人実技テスト	1

	指導内容	科目音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	ミュージカル鑑賞「王様と私」	ミュージカルの特徴と表現上の効果との関わりを理解して、それらの文化的・歴史的背景や作曲家に対する理解を深めて鑑賞し、作品の良さや面白さ、価値について考える。	観察・提出物	4
8月	鑑賞 ラフマニノフ「ピアノ協奏曲第2番第一楽章」、ソナタ形式	楽曲の構成、楽器の音色の特徴と表現上の効果との関わりを理解して鑑賞し、楽曲の文化的・歴史的背景や作曲家に対する理解を深め、作品の良さや面白さ、価値について考える。	観察・提出物	1
	4重唱「Moon River」(練習)	表現形態による歌唱の特徴や表現上の効果を生かして歌唱曲に親しむとともに、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて理解し、イメージをもって歌唱することができる。	観察・発表	1
9月	ギターアンサンブル「Stand by me」(歌唱・ギター練習)	ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもってグループごとに演奏することができる。	観察・発表	3
	鑑賞自由発表(導入)	声や楽器の特徴と表現上の効果との関わりを理解して鑑賞し、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深めて、それらの価値についてプレゼンテーションをすることができる。	レポート提出・発表	1
	4重唱「Moon River」	表現形態による歌唱の特徴や表現上の効果を生かして歌唱曲に親しむとともに、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて理解し、イメージをもって歌唱することができる。	観察・発表	4

	指導内容	科目音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	ギターアンサンブル「Stand by me」（発表）	ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果との関わりを理解し、曲想にあった音楽表現を工夫して、イメージをもってグループごとに演奏することができる。	観察・発表	2
	鑑賞自由発表（個人発表）	声や楽器の特徴と表現上の効果との関わりを理解して鑑賞し、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深めて、それらの価値についてプレゼンテーションをすることができる。	レポート提出・発表	2
	4重唱「Moon River」	表現形態による歌唱の特徴や表現上の効果を生かして歌唱曲に親しむとともに、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて理解し、イメージをもって歌唱することができる。	観察・発表	2
	合唱「落葉松」	合唱活動に関心をもち、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素のかかわりについて理解し、音楽表現を工夫して合唱をすることができる。	観察・個人実技テスト	2
11 月	鑑賞自由発表（個人発表）	声や楽器の特徴と表現上の効果との関わりを理解して鑑賞し、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深めて、それらの価値についてプレゼンテーションをすることができる。	レポート提出・発表	2
	合唱「落葉松」	合唱活動に関心をもち、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素のかかわりについて理解し、音楽表現を工夫して合唱をすることができる。	観察・個人実技テスト	2
	グループ器楽アンサンブル（導入）	グループで選んだ楽曲や創作した楽曲について演奏発表を行い、演出上の効果も検討しながら、発表会を行うことができる。		4
12 月	鑑賞自由発表（個人発表）	声や楽器の特徴と表現上の効果との関わりを理解して鑑賞し、楽曲の文化的・歴史的背景について理解を深めて、それらの価値についてプレゼンテーションをすることができる。	レポート提出・発表	1
	合唱「落葉松」	合唱活動に関心をもち、歌詞の内容と音楽を形づくっている要素のかかわりについて理解し、音楽表現を工夫して合唱をすることができる。	観察・個人実技テスト	1
	グループ器楽アンサンブル（練習）	グループで選んだ楽曲や創作した楽曲について演奏発表を行い、演出上の効果も検討しながら、発表会を行うことができる。	観察・発表	2

	指導内容	科目音楽Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	グループ器楽アンサンブル（練習）	グループで選んだ楽曲や創作した楽曲について演奏発表を行い、演出上の効果も検討しながら、発表会を行うことができる。	観察・発表	3
	ヴォイスアンサンブル（導入・選曲）	表現形態による歌唱の特徴や表現上の効果を生かしているいろいろな曲に親しむとともに、グループで選曲を行い、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって歌唱し、発表することができる。	観察・発表	3
12 2 月	グループ器楽アンサンブル（発表）	グループで選んだ楽曲や創作した楽曲について演奏発表を行い、演出上の効果も検討しながら、発表会を行うことができる。	観察・発表	3
	ヴォイスアンサンブル（練習・発表）	表現形態による歌唱の特徴や表現上の効果を生かしているいろいろな曲に親しむとともに、グループで選曲を行い、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって歌唱し、発表することができる。	観察・発表	3
3 月	オペラ鑑賞「椿姫」	オペラの特徴と表現上の効果との関わりを理解して、それらの文化的・歴史的背景や作曲家に対する理解を深めて鑑賞し、作品の良さや面白さ、価値について考える。	観察・提出物	2

昭和高等学校令和5年度 教科芸術 科目 素描 年間授業計画

教科：芸術 科目：美術I 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：伊藤和美

使用教科書：(美術1 <光村図書>)

使用教材：()

	指導内容	科目 素描 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション	・美術、デザインの様々な分野について教科書を用いて解説。	・ワークシート、まとめのプリント	1
	静物デッサン (ピン、ブロック、布、リンゴ)	・用意されたモチーフを、美術1の教科書(68、69ページ)を参考に描いていく。 ・ブロックのパースを正確に捉えること、ピンの垂直線が曲がらないことなど等、具体的にアドバイスしながら進めていく。 ・窓からの光を重視しし、影の方向を意識しながら立体的に描写していく。	・作品(提出期限オーバーは減点対象) ・授業の参加度	5
5月	静物デッサン (ピン、ブロック、布、リンゴ)	・用意されたモチーフを、美術1の教科書(68、69ページ)を参考に描いていく。 ・ブロックのパースを正確に捉えること、ピンの垂直線が曲がらないことなど等、具体的にアドバイスしながら進めていく。 ・窓からの光を重視しし、影の方向を意識しながら立体的に描写していく。	・ワークシート、まとめのプリント ・作品(提出期限オーバーは減点対象) ・授業の参加度	8
6月	木炭による石膏デッサン	・石膏像4種(ラポルト、アグリッパ、青年マルス、メディチ)の中から好きなモチーフを選び、形を正確に取り立体的に表現する。 ・石膏像の形を正確に描写するために、デスケルやはかり棒の使用方法を知り、できる限り正確に形を捉えられるようにする。	・ワークシート、まとめのプリント ・作品(提出期限オーバーは減点対象) ・授業の参加度	8

	指導内容	科目 素描 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数
7 月	校内デッサン	<ul style="list-style-type: none"> 一点透視法、二点透視法についてワークシートを用いて学ぶ。 各々好きな場所に赴き、透視法に基づいて形を正確に取り、鉛筆を用いて描写する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品（提出期限オーバーは減点対象） 授業の参加度 	4
8 月				
9 月	校内デッサン	<ul style="list-style-type: none"> 一点透視法、二点透視法についてワークシートを用いて学ぶ。 各々好きな場所に赴き、透視法に基づいて形を正確に取り、鉛筆を用いて描写する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品（提出期限オーバーは減点対象） 授業の参加度 	8
10 月	自由課題 I	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身でモチーフや時間配分を決め、デッサンを2点（自由課題 I・II）制作。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品（提出期限オーバーは減点対象） 授業の参加度 	8

指導内容	科目 素描 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数

	指導内容	科目 素描 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11月	自由課題Ⅱ	・自分自身でモチーフや時間配分を決め、デッサンを2点（自由課題Ⅰ・Ⅱ）制作。	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	8
12月	自由課題Ⅱ	・自分自身でモチーフや時間配分を決め、デッサンを2点（自由課題Ⅰ・Ⅱ）制作。	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	6
1月	受験対策課題または自由課題	・実技試験対策として過去問、または過去問に近い内容の題材を描く。美術系志望者ではない生徒は自由課題で制作。	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	6
2月	受験対策課題または自由課題	・実技試験対策として過去問、または過去問に近い内容の題材を描く。美術系志望者ではない生徒は自由課題で制作。	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	6
3月	受験対策課題または自由課題	・実技試験対策として過去問、または過去問に近い内容の題材を描く。美術系志望者ではない生徒は自由課題で制作。	・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度	2

指導内容	科目 素描 の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配 当 時 数

昭和高等学校 令和5年度 教科 芸術 科目 美術Ⅲ 年間授業計画

教科：芸術 科目：美術Ⅲ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：伊藤和美

使用教科書：(美術3 <光村図書>)

使用教材：()

	指導内容	科目 美術Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション 教科書作品鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> 美術、デザインの様々な分野について教科書を用いて解説。 美術文化への関心や鑑賞の能力を高め、発表する力を伸ばす。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品 (提出期限オーバーは減点対象) 授業の参加度 	2
	水彩静物画制作 (鳥)	<ul style="list-style-type: none"> 各々好きな鳥のはく製と、テニスボール、白い箱の3つをモチーフにB3の画用紙に水彩画で制作する。 それぞれの形や大きさのバランスについてよく観察し、できる限り正確に形を捉える。 空間感、立体感が感じられるように、自然な色合いを作り写実的に描写する。 		4
5月	水彩静物画制作 (鳥)	<ul style="list-style-type: none"> 各々好きな鳥のはく製と、テニスボール、白い箱の3つをモチーフにB3の画用紙に水彩画で制作する。 それぞれの形や大きさのバランスについてよく観察し、できる限り正確に形を捉える。 空間感、立体感が感じられるように、自然な色合いを作り写実的に描写する。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品 (提出期限オーバーは減点対象) 授業の参加度 	8
6月	人工物をモチーフとした平面構成	<ul style="list-style-type: none"> 選んだモチーフの形態や材質の特徴を的確に表しつつも、各々が設定したテーマにに基づいた平面構成となるようにする。 ベタ塗りで丁寧に着色し、汚れた箇所などの修正も適切に行い完成度の高い仕上がりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品 (提出期限オーバーは減点対象) 授業の参加度 	8
7月	人工物をモチーフとした平面構成	<ul style="list-style-type: none"> 選んだモチーフの形態や材質の特徴を的確に表しつつも、各々が設定したテーマにに基づいた平面構成となるようにする。 ベタ塗りで丁寧に着色し、汚れた箇所などの修正も適切に行い完成度の高い仕上がりとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品 (提出期限オーバーは減点対象) 授業の参加度 	4
8月				

	指導内容	科目 美術Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	ハンドスカルプチュア制作	<ul style="list-style-type: none"> ・抽象表現が生まれた経緯を知り、抽象によって制作を行った作家たちの作品を鑑賞する。 ・抽象表現によるハンドスカルプチュア（=手のひらサイズの彫刻）を制作する。 ・万力やのこぎり、サーフォームなどの用具を適切に利用し、見た目に美しく手で触って心地よい仕上がりの作品を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度 	8
10 月	ドライポイント制作	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライポイント（凹版）の技法について学び、偶然の効果が楽しめる版画制作を体験する。 ・線描について学び、各々のテーマに基づいて効果的な表現ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度 	8
11 月	自由制作	<ul style="list-style-type: none"> ・各々の進路先で受験時に課される実技試験対策の制作を行う。 ・個別計画表を記入し、その計画に沿って進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度 	8
12 月	自由制作	<ul style="list-style-type: none"> ・各々の進路先で受験時に課される実技試験対策の制作を行う。 ・個別計画表を記入し、その計画に沿って進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート、まとめのプリント ・作品（提出期限オーバーは減点対象） ・授業の参加度 	6

	指導内容	科目 美術Ⅲ の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	自由制作	<ul style="list-style-type: none"> 各々の進路先で受験時に課される実技試験対策の制作を行う。 個別計画表を記入し、その計画に沿って進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品（提出期限オーバーは減点対象） 授業の参加度 	6
2 月	自由制作	<ul style="list-style-type: none"> 各々の進路先で受験時に課される実技試験対策の制作を行う。 個別計画表を記入し、その計画に沿って進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品（提出期限オーバーは減点対象） 授業の参加度 	6
3 月	自由制作	<ul style="list-style-type: none"> 各々の進路先で受験時に課される実技試験対策の制作を行う。 個別計画表を記入し、その計画に沿って進めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、まとめのプリント 作品（提出期限オーバーは減点対象） 授業の参加度 	2

昭和高等学校 令和5年度 教科芸術科目実用書道 年間授業計画

教科：芸術 科目：実用書道 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：(A～H組：大畑) (O組：) (O組：) (O組：) (O組：) (O組：)

使用教科書：(書 I 光村図書)

使用教材：()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	◎小・中学校国語科書写で学習した、基本的な知識・技能を確認させる。	①筆使い、筆順、字形、配列など、小・中学校の国語科書写で学習した内容を確認する。 ②楷書の基本的な点画の筆使いと、その組み立て方を確認し、漢字の学習をする。	・小・中学校の国語科書写で学習した内容を主体的に振り返っている。 ・楷書の基本的な点画の筆使いと、その組み立て方を理解しており、文字を正しく整えて書いている。	6
5月	◎芸術科書道への関心・意欲を高めさせる。 ◎漢字の書体の変遷と、各書体の字形や線質の特徴について理解させる。	①漢字・仮名・漢字仮名交じりの書の合作を鑑賞し、書の可能性や表現の喜びを感じ取るとともに、これからの学習への関心・意欲を高める。 ①漢字には五つの書体があることを確認する。 ②それぞれの書体の成立過程と、その歴史的背景、字形や線質の特徴を理解する。	・芸術科書道の学習に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。 ・各書体に特有の字形や線質の特徴を、的確に捉えている。 ・漢字の書体の変遷を、文字を書く目的や用具・用材等の歴史的背景と合わせて理解している。	8
6月	◎漢字仮名交じりの書とはどのようなものか、また、それがどのような目的で書かれてきたのかを理解させる。	①漢字仮名交じりの書の表記の特徴を理解する。 ②作例の形式(はがき、原稿、書作品など)と文章の内容を確認し、漢字仮名交じりの表記が日常から芸術まで幅広く使われていることを理解する。 ③伝達を意図したものと表現を意図したものの、表現の違いを理解する。 ④さまざまな漢字仮名交じりの書を鑑賞する。	・漢字仮名交じりの書の表現に関心をもっている。 ・漢字仮名交じりの書が、伝達や表現などさまざまな目的で書かれてきたことを理解し、目的に応じた表現の特徴を把握している。 ・漢字仮名交じりの書に見られる多彩な表現や個性を味わっている。	8
7月	生活の中の書 ◎さまざまな定型書式の書き方を身につけさせる。 ◎書が生活のあらゆる場面で生かせることを理解させる。	「手紙の書き方」「封筒の書き方」「はがきの書き方」 ・基本的な手紙の書式や、封筒・はがきの表書きなど、定型書式の書き方を確認する。	・「書道I」で学習した内容を、生活に生かそうとしている。 ・基本的な手紙の書式や、封筒・はがきの表書きなど、さまざまな定型書式の書き方を身につけている。	4
8月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	生活の中の書 ◎さまざまな定型書式の書き方を身につけさせる。 ◎書が生活のあらゆる場面で生かせることを理解させる。	「一筆箋の書き方」「送り状の書き方」「履歴書の書き方」「表書きの書き方」 ・一筆箋や送り状、履歴書やのし袋の表書きなど、生活の中の書の書き方を確認する。	・生活の中の書に求められる技法を学び、あらゆる生活場面で活用している。	8
10月	漢字仮名交じりの書 ◎漢字仮名交じりの書とはどのようなものか、また、それがどのような目的で書かれてきたのかを理解させる。	①漢字仮名交じりの書の表記の特徴を理解する。 ②作例の形式（はがき、原稿、書作品など）と文章の内容を確認し、漢字仮名交じりの表記が日常から芸術まで幅広く使われていることを理解する。	・漢字仮名交じりの書の表現に関心をもっている。 ・漢字仮名交じりの書が、伝達や表現などさまざまな目的で書かれてきたことを理解し、目的に応じた表現の特徴を把握している。	8
11月	漢字仮名交じりの書 ◎題材から連想するイメージの違いや表現の工夫により、多様な書の表現が生まれることを理解させ、創作への見通しをもたせる。	①さまざまな漢字仮名交じりの書を鑑賞する。 ②作品を鑑賞し、それぞれの表現のよさを味わうとともに、次時からの創作への見通しをもつ。	・漢字仮名交じりの書で創作・表現することに関心を高めている。 ・表現のねらいに対する技法上の工夫とその効果を的確に捉え、創作の構想に生かしている。	8
12月	創作する ◎表現のねらいに基づいて構想を練り、これまでに学習した書体・書風や紙面構成、用具・用材に関する知識・技能を生かして、工夫して表現させる。	①創作の手順を理解する。 ②書く言葉を決め、表現のイメージを明確にもつ。	・表現のねらいを明確に定め、古典や古筆の学習を通して習得した知識・技能を生かして構想を練っている。	6
1月	創作する ◎表現のねらいに基づいて構想を練り、これまでに学習した書体・書風や紙面構成、用具・用材に関する知識・技能を生かして、工夫して表現させる。	①試作を重ね、表現を工夫する。	・創作した作品を互いに鑑賞し、批評し合うことで、表現の意図と技法の効果について理解を深めている。	6
2月	創作する ◎共通の題材で創作された生徒作品を鑑賞し、表現の工夫とその効果を感じ取らせる。	①共通の題材で創作された生徒作品を鑑賞し、どのような表現の工夫が見られるか、また、それがどのような効果を生んでいるかをグループで話し合う。	・さまざまな生徒作品例にふれ、表現の工夫を捉えるとともに、自分の表現への生かし方を考えている。	6
3月	創作する ◎共通の題材で創作された生徒作品を鑑賞し、表現の工夫とその効果を感じ取らせる。	①共通の題材で創作された生徒作品を鑑賞し、どのような表現の工夫が見られるか、また、それがどのような効果を生んでいるかをグループで話し合う。	・さまざまな生徒作品例にふれ、表現の工夫を捉えるとともに、自分の表現への生かし方を考えている。	2

昭和高等学校 令和5年度 教科「情報」科目「社会と情報」 年間授業計画

教科：情報 科目：社会と情報 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：A組～H組 今井大介

使用教科書：新・見てわかる社会と情報（日本文教出版）

使用教材：パーフェクトガイド情報（実教出版）情報最新トピック集（日本文教出版）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	第1章 情報社会に生きるわたしたち 第1節 情報を活用しよう	・情報社会に関心を持ち、自らの情報活用能力を高めようとする態度を養おう。 ・コンピュータを活用することで、仕事や生活がよりよくなることを理解しよう。	情報社会やコンピュータについて学ぶことに意欲を持てたか。行動観察	1
	第2節 情報モラルを身につけよう	・スマートフォンなどを利用する上で必要なルールやマナー、注意点を理解しよう。 ・情報を発信するときに必要な送り手としての責任を理解し、他人を傷つけないようにしよう。	コンピュータについて学ぶことで仕事や生活がよりよくなる場面を考えることができたか。ワークシート 情報モラルを意識しながら、スマートフォンやインターネットを適切に活用することができているか。 教科書に取り上げられている事例について、どこが問題なのかを指摘することができたか。ワークシート	2
	第2章 コンピュータを使いこなそう 第1節 コンピュータを使ってみよう	・スマートフォンなどを利用する上で必要なルールやマナー、注意点を理解しよう。 ・情報を発信するときに必要な送り手としての責任を理解し、他人を傷つけないようにしよう。	コンピュータのしくみについて理解することができたか。ワークシート	2
5月	第2節 文書を作成してみよう	・文書などを作成する際に配慮しなければならないことを理解しよう。 ・文書処理ソフトウェアを使った文書作成の方法を習得しよう。	文書処理ソフトウェアの基本的な操作を身に付けることができたか。実習成果物	1
	第3章 情報を整理して伝えよう 第1節 問題を解決してみよう	・問題の本質は何であるかを知り、問題を解決する手順と方法を理解しよう。 ・実際に自ら問題を発見し、さまざまな情報を分析して解決策を考えよう。	問題とは何か、問題解決とは何かを理解できたか。実習成果物	2
	第2節 データを分析してみよう	・表計算ソフトウェアを活用した情報の分析の方法を習得しよう。 ・データを分析する手段や注意点を知らう。	問題解決に数値データを生かす方法を理解できたか。実習成果物	2
	第3節 情報をわかりやすく伝えよう	・効果的に情報を伝えるために発信の手順や方法を学ぼう。 ・プレゼンテーションソフトウェアを活用した情報発信の方法を習得しよう。	情報をわかりやすく伝えるための方法を理解することができたか。実習成果物	2
	第4章 情報社会の課題について考えよう 第1節 情報化が社会に及ぼす影響と課題	・情報化が社会に及ぼす影響と課題を理解しよう。 ・望ましい情報社会のあり方と情報技術を適切に活用することの必要性を理解しよう。	サイバー犯罪やトラブルに巻き込まれないために必要な心構えを理解できたか。ワークシート	1
6月	第2節 情報セキュリティの確保	・情報セキュリティを高めるためのさまざまな方法を理解しよう。 ・技術的な方法だけでなく、利用者の意識の向上が必要であることを理解しよう。	・情報セキュリティを高めるための各種方法について理解できたか。ワークシート	2
	第3節 情報社会における法と個人の責任	・社会の中で多くの情報が公開され、流通されていることを理解しよう。 ・情報や権利を保護することの必要性とそのための法律、個人の責任を理解しよう。	知的財産権や個人情報を守る目的を理解できたか。ワークシート	2
	第5章 情報社会のしくみを知ろう 第1節 情報通信ネットワークとコミュニケーション	・情報の特徴とメディアの意味、コミュニケーション手段の発達について理解しよう。 ・情報通信ネットワークの特性を理解し、効果的なコミュニケーションの方法を習得しよう。	情報とメディア、コミュニケーション手段の発達について理解することができたか。ワークシート	2
	第2節 情報のデジタル化	・情報のデジタル化の基礎的な知識を理解しよう。 ・デジタル化された情報は統合的に扱うことができることを理解しよう。	デジタルとアナログの特徴を理解することができたか。ワークシート	2

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月	第3節 情報通信ネットワークのしくみ	<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークの基本的なしくみを理解しよう。 Webページや電子メールがどのようなしくみになっているのか理解しよう。 	情報通信ネットワークのしくみを理解することができたか。ワークシート	4
8月				
9月	動画実習	<ul style="list-style-type: none"> 動画と動画作成の仕組みを理解しよう。 	映像作品を作成することができたか。実習成果物	6
	第4節 望ましい情報社会を築く	<ul style="list-style-type: none"> 情報システムの種類や特徴を知り、社会生活での役割と影響を理解しよう。 情報システムに関する意見を提案・集約し、情報社会の一員としての意識を高めよう。 	代表的な情報システムのしくみを理解することができたか。ワークシート	2
10月	情報最新トピック集 インターネットの活用	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活とインターネットサービスについて理解しよう。 	インターネットサービスについて理解することができたか。ワークシート	2
	情報倫理とセキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティとネットワーク利用の際のリスクについて理解しよう。 	情報セキュリティについて理解することができたか。ワークシート	2
	私たちが生きる情報社会	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と情報システムについて理解しよう。 	情報システムについて理解することができたか。ワークシート	2
	情報やメディアに関する技術	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と情報やメディアに関する技術について理解しよう。 	情報やメディアに関する技術について理解することができたか。ワークシート	2
11月	ネットワークやインターネットにかかわる技術	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活とネットワークやインターネットにかかわる技術について理解しよう。 	ネットワークやインターネットにかかわる技術について理解することができたか。ワークシート	2
	ハードウェアに関わる技術	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェアに関わる技術について理解しよう。 	ハードウェアに関わる技術について理解することができたか。ワークシート	2
	ソフトウェアに関わる技術	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアに関わる技術について理解しよう。 	ソフトウェアに関わる技術について理解することができたか。ワークシート	2
	コンピュータの歴史とIT業界	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータの歴史とIT業界について理解しよう。 	コンピュータの歴史とIT業界について理解することができたか。ワークシート	2
12月	パーフェクトガイド情報 Word	<ul style="list-style-type: none"> Wordを活用したビジネス文書の作成方法について理解しよう。 	指示されたファイルを作成できたか。実習成果物	4
	パーフェクトガイド情報 Excel	<ul style="list-style-type: none"> Excelを活用したデータ処理方法について理解しよう。 	指示されたファイルを作成できたか。実習成果物	4

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	パーフェクトガイド情報 PowerPoint	・PowerPointを用いた情報発信について理解しよう。	指示されたファイルを作成できたか。実習成果物	4
2 月	パーフェクトガイド情報 PowerPoint	・PowerPointを用いた情報発信について理解しよう。	指示されたファイルを作成できたか。実習成果物	
3 月	パーフェクトガイド情報 PowerPoint	・PowerPointを用いた情報発信について理解しよう。	指示されたファイルを作成できたか。実習成果物	